



美しい肌だから汚したい! 卑しい男だから抱かれない!
 女の薔薇を赤々と染めて 襲われる歡びに悶えのたうつ!

*Young
 Lady Chatterley*

《成人映画》



淫乱な血を引く孫娘は
 やはり野獣のとりこになるのか?
 目もくらむあのエロス文学
 「チャタレイ夫人の恋人」に題材を得た
 官能のポルノグラフィー!

ヤングチャタレイ

〈カラー作品〉ハーレー・マックブライト/ピーター・ラトレイ ウィリアム・ベックレイ 監督アラン・ロバーツ / 脚本スティーブ・マイケル イギリス映画 日本ヘラルド映画

Herald

ヤングチャタレイ

Young Chatterley

現代版！ 「チャタレイ夫人の恋人」

三年前、世界中の話題を独占しボルノ映画に新しいジャンルを確立した「エマニエル夫人」以来、ひさびさにソフト・ボルノの傑作が誕生した。その名を「ヤング・チャタレイ」。

発刊当時、ワイセツ裁判にまで発展したD・H・ローレンスの傑作エロス文学「チャタレイ夫人の恋人」を題材に、チャタレイ夫人の孫娘が、奔放な性の狩人となって次々に男たちと関係していく様を、流麗なカメラワークと美しい音楽でくりひろげる。

大胆なセックス描写もさることながら、シンシア・チャタレイという魅力的な女の性行動を通して、古い性道徳観念にとらわれている現代人にその愚劣さを悟っている点で、ローレンスの原作に忠実である。

大胆きわまる SEX描写！

シンシア・チャタレイは、ロンドンのオフィスにつとめるO・L。少しばかりたよりないけれどハンサムなフィリップとの婚約が決まったというのに、何か充たされない毎日だった。そんなある日、一人の弁護士との訪問を受けた。

「チャタレイ男爵が20年前に死に、夫人もまた7週間前に他界しました。血縁のあなたに莫大な遺産が入ることになりました。」

チャタレイ夫人の孫娘シンシアは、夢のようなこの話を見きわめるため、週末を利用しておばあさんが住んでいた豪壮な邸宅へと向かった。単調な生活に飽きていた矢先、シンシアにはまたとない気分転換の出来事だった。

チャタレイ夫人の邸宅に着いたシンシアはその晩、美しい皮表紙に「チャタレイ夫人の日記」としてのされた祖母チャタレイの日記を見つけた。祖母の日記には、夫の目を盗んで男と交じわっていく、刻明で赤裸々なセックスの告白が綴られていた。日記を読んでいくうちに、シンシアは体が火照るのを覚え、無意識のうちに指が、自分の豊かな繁みにおおわれた下腹部をまさぐるのを押えられなかった。そして、祖母の隠された一面は、すっかりシンシアを虜にしてしまった。

沢山のメイドや雇人に囲まれ、豪奢な邸宅で生活するシンシアは、だんだんと自分が、チャタレイ夫人であるかのような気持ちになってきた。

そんなある日シンシアは庭師のポールとメイドのジャネットが、庭師小屋で、荒々しく性交している光景を目撃してしまった。

スカートをたくし上げ剥き出しになったジャネットの真白な尻に、馬のように猛り狂った男性自身を押しあて激しく突き上げるポールの姿をみて、シンシアは思わず自分がジャネットであるかのような錯覚におちいった。そして自分の秘所がだんだんと濡れてくるのを覚えた。

数日後、シンシアが庭に花を植えているとポールが現われ、「俺が植えますよ。これは

庭師の仕事だ」と言って、彼の逞ましい腕がシンシアの手をつかんだ。反射的にシンシアの口から「あなたが欲しいわ」という言葉が洩れた。シンシアとポールは夢中で唇をむさぼり合った。突然豪雨が襲い、ずぶ濡れになるのもかまわず二人は泥だらけになりながら裸身を重ねあつた。

翌日、フィリップが友人と一緒に邸宅を訪ずれ、その晩二人の歓迎仮装パーティーが行われた。妖し気な雰囲気の中にシンシア、フィリップをはじめメイド、雇人たちが入り混じり目もあやな性宴がくりひろげられた。祖母チャタレイ夫人とそっくりの体験をしたシンシアは、フィリップとめでたく結婚したが、その後も週末になると、遺産の邸宅に秘密の性の享楽を求めて訪ずれるのだった。

ボルノ映画の 新星誕生！

主演のシンシアには、イギリスの新人女優ハレー・マックブライトが扮し美しい肢体を惜し気もなく披露する。他にピーター・ラトレイ、ウィリアム・バックレイ、アン・ミッシェルらが共演している。

監督は新鋭のアラン・ロバーツ。撮影はポブ・ブローネル。チャタレイ夫人邸のシーンは、カリフォルニアのビバリー・ヒルズにあるハロルド・ロイドの所有地でロケされた。

家具、衣裳などは豪華でアンティークな雰囲気を持ち、まるで泰西名画を見るようである。

(上映時間一時間四一分)